



とらいあんぐる



2015 年 3 月

一音会ミュージックスクール発行

「音楽の道」

また春が来ます。

4 月からの新しい進路を前に、期待と不安の日々を過ごしている方も、少なくないことでしょう。

私の母は、私の娘のキョウコが音楽の道に進むことをすすめませんでした。

反対もしませんでした。

母は、私が音楽の道に進むことをすすめませんでした。

反対もしませんでした。

何もしていないのです。

結局、私は音楽の道に進みませんでした。

そのことで、母ががっかりしたという事は、まったくありません。

キョウコは音楽の道に進みました。

そのことで、母が大喜びしたということも、まったくありません。

賛成でも反対でもなかったのです。

母と接点のあった生徒さんは、よくおわかりだと思います。

生徒さんに対しても、音楽の道をすすめることはありませんでした。

母はよく、こういっていました。

演奏家は、他人が「なれ」といって、なれるものではないわ。

そして演奏家になる人は、周囲のすべての人が「なるな」といったところ

で、なるわ。

**見えない綱で引き寄せられるように、
どんどん音楽の世界に引き込まれてい
ってしまうのよ。**

自分でも止めようがないの。

**だって、音楽が、他の何より、圧倒
的に好きなもの！！**

母の両親は、明治の人でしたが、と
ても進歩的な考え方の人でした。

子どもの意見も尊重してくれる人で、
「子ども時代から、親に何かを反対さ
れた記憶がない」と、母はよくいって
いました。

そんな母の両親ですが、母が音楽の
道に進むことについてだけは、あから
さまな反対はしないものの、「本当に、
それで良いの？」と何度もたずねたと
いいます。

それは明らかに「考えなおした方が
良いのでは・・・」というメッセージ
でした。

母の父は、身内の病人をみてきた経
験から、母に医者になってほしかった
そうです。

あるとき、祖父は母にこんなことを

いいます。

「人は、命のためなら、いくらでも
お金を使う。誰だって、自分の命を、
何よりも優先する。当然だ。そして、
目の前の病気の家族を助けるためだっ
たら、明日、食べるためのお金だって、
投げ出すだろう」

祖父もまた、音楽を愛する人でした。
祖父は、こう言葉を続けます。

「音楽は崇高なものだと思う。その
素晴らしさはよく分かっている。だけ
ど、カズコ、想像してごらん？ 音楽
のために、人はいくらでもお金を使う
だろうか？」

母は、当時のことを思い返して、私
にこんなふうに語ったものです。

**その言葉は、私にとって、すごくシ
ョックだったわ。お父さんに何かを反
対されるなんてこと、それまで一度も
なかったんですもの。**

**お父さんも、そのことを私に告げる
のは、苦しそうだったわ。私が、音楽
の道に進みたいと強く望んでいること
を、よく知っていたから。**

でも本当のこと、本当の気持ちを、

今、私に伝えなければ、って思ったのね、きつと。

そして、私はその言葉をきいて、本当にその通りだと思ったの。

音楽の道は、決して豊かな生活には結びつかないんだ、って。

できることなら、親の願いをきいて、医者になってあげたかったわ。

そうしたら、どんなにか親を安心させてあげられるだろう、どんなにか親孝行になるだろう、って。

でもね・・・それでもね・・・一番好きな音楽をあきらめることはできなかつたのよ。

どうしても・・・どうしても・・・できなかつたのよ。

母は、悩んだ末、やはり音楽の道に進みたいということを、祖父に告げます。

告げることが苦しい母とは対照的に、祖父は、とても晴れやかな顔をしていたそうです。

「そうか！ 決心したんだね。もうお父さんは、絶対にカズコのこの選択に反対しない。一生、応援することを

約束しよう。カズコ、お父さんはね、苦しい道であるのがわかっていながらそれを選ぶ、それほど好きなことに、カズコがめぐりあえたということが、何よりうれしいんだよ」

母は、祖父が反対していたわけではなく、母の覚悟をきいていたことに、その時、気づくのです。

そんなみずからの体験があったからなのでしょう。

母は、音楽の道をすすめることもしなければ、反対することもしない人になっていました。

母の言葉を、そのまま書きます。

キョウコに、音楽家になってほしいとか、なってほしくないとか・・・、そんなことはまったく無意味だわ。

どうやったって本人が選ぶのよ。選ぶというより、引き寄せられてしまうのよ。

どうしようもないことなの。

だから反対したって、無駄。賛成するのも、無駄。

でもね、1つだけアヤコにお願いがあるの。

もしキョウコが音楽家になることをあきらめようとしたら、それを責めないであげてちょうだい。

音楽家になることは、とても難しいこと。難しいだけでなく、苦しいものよ。

もしキョウコがたえられなくなっても、決して説得しようとししないで。キョウコを選択を認めてあげてちょうだい。

いつやめたっていいの。本当よ。これは、お母さんの本当の気持ちなの。音楽の道なんて、いつやめたっていい。

何度でもいうわ。いつやめたっていいのよ。

向いていないことをやり続けるほど苦しいことはないわ。

そしてね・・・そんなことで音楽を嫌いになったら、それが一番、不幸なことなのよ！

キョウコは、この春、高校生になります。

進学する節目に、私はおそろおそろキョウコにききます。

「音楽の道、このまま進んでいける？」

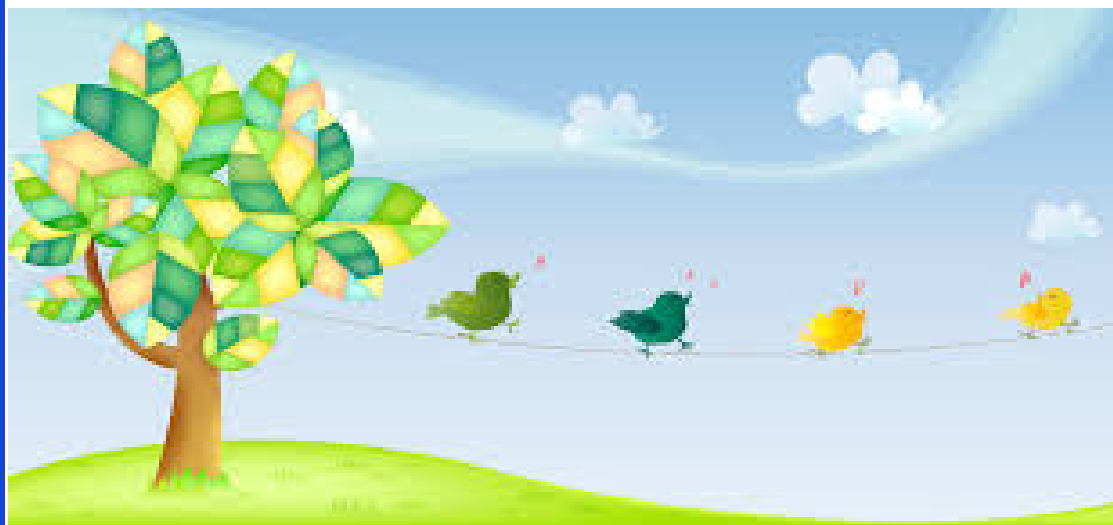
キョウコは、不思議そうな顔をします。

「私から音楽をとったら何も残らないよ？」

いつものように私は空を見上げ、母にいいます。

「お母さん、まだやるそうです」

(江口 彩子)



◆プリドノフ先生ご夫妻が来日します

すでにお知らせしていますように、以下の日程で、客員教授のプリドノフ先生ご夫妻が来日されます。

レッスン：3月14日（土）・15日（日）・16日（月）

コンサート：3月21日（土）

ジュニアコンサート・オーディション：3月22日（日）

ご夫妻のコンサートは、2年ぶりとなります。まだご招待チケットをお申し込みでない方で、ご希望の方は、至急、本部にご相談ください（03-5966-7711）。

コンサートの会場は「ひびきホール」、14:30 開場、15:00 開演です。お一人でも多くの方に足をお運びいただけますよう、願っています。

◆「第10回ジュニア・コンサート」を開きます

3月22日の「ジュニアコンサート・オーディション」の結果を受け、4月28日（火）夕方に、「第10回ジュニア・コンサート」を開きます。場所は大泉学園駅駅前の「ゆめりあホール」です。

くわしくは、オーディション後に、あらためてお知らせいたします。



◆新年度時間割をお組みしています

現在、みなさまからお出しいただいた新年度変更希望表をもとに、4月からのレッスン時間割を作成しています。

曜日、時間帯、コースについて、変更を希望された方には、時間割に関するご相談のお電話を差し上げているところです。少しでも、お一人お一人の生徒さんのご都合にかなう時間割となるよう、努力を続けております。

しかし、ご希望に添うことが難しい場合もあり、その点は、どうかご理解ください。たとえば、曜日や時間帯を変更される場合、以前からその日時にレッスンを受けていらっしゃる生徒さんが優先されます。そのため、「そのままの担当で」と希望される方は多いのですが、同じ担当でお組みできることの方がまれです。

また、お電話を差し上げた時に、お留守だった場合には、留守番電話やFAXで、ご相談内容をお知らせしていますが、もし可能であれば、本部まで折り返しお電話いただければと思います（03-5966-7711）。といたしますのも、同じ時間帯、同じ担当で希望される生徒さんが2人以上いらした場合は、同じ条件であれば先着順となり、先に連絡をくださった生徒さんから決まってしまう場合があります。ご面倒かと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

以前にお出しくださった変更希望表に変更が出た場合にも、なるべく早く、ご連絡ください。

◆新時間割を電話でお知らせします

新時間割は、新年度からの担当が、3月28日(土)または29日(日)に、主に電話で、みなさまにお知らせします。

もし、4月1日になっても連絡がいかない場合は、何かの手ちがいが起こっているかもしれませんので、お手数ですが、生徒さんのほうから、本部（03-5966-7711）まで、お電話ください。

この期間、ご旅行などでお留守にされる生徒さんは、携帯電話の番号を、事前にお知らせください。こちらからメールやFAXで連絡をさしあげた場合は、ご面倒

ですが、受信したことをお知らせいただければ、たいへん安心します。

ご協力を、よろしく申し上げます。

◆一音会卒業生が活躍しています

一音会の通信教育の卒業生、毛利文香さんが、今月、イタリアのジェノバでおこなわれた「第54回パガニーニ国際バイオリンコンクール」で第2位に輝きました。このコンクールは世界最難関の1つで、日本人が入賞するのは、毛利さんで2人目です。

毛利さんは、一音会の「ミミちゃんクラブ」で絶対音感を身につけ、桐朋学園大学ソリストディプロマコースを経て、現在、慶応大学2年生です。

また一音会の卒業生で、現在、武蔵野音楽大学声楽科の櫻井陽香さんが、昨年12月、「第24回日本クラシック音楽コンクール」声楽部門大学女子の部で1,2位該当者なしの3位に選ばれました。通称「クラコン」と呼ばれるこのコンクールは、たいへん権威あるコンクールです。櫻井さんは、前回の「音楽祭」で、「星に願いを」に出演し、月の精の役を演じてくれましたので、彼女の歌声をご記憶の方も多いと思います。

3月31日に、かつしかシンフォニーヒルズ、モーツアルトホールで入賞者披露演奏会に出演されるそうです。

先号お伝えしました黒沼香恋さんの快挙に続き、次々よせられる卒業生のご活躍の知らせを、心から嬉しく思っています。この場を借りて、祝福いたします。おめでとうございます。

◆新年度のレッスン開始日

新年度最初のレッスン日は、次のようになります。
お間違えのないよう、ご注意ください。

月曜日・・・・・・・・ 4月13日
火曜日・・・・・・・・ 4月 7日
水曜日・・・・・・・・ 4月 8日
木曜日・・・・・・・・ 4月 9日
金曜日・・・・・・・・ 4月10日

土曜日（毎週）・・・・ 4月11日
土曜日（偶数週）・・・・ 4月11日
土曜日（奇数週）・・・・ 4月18日

日曜日（月1回）・・・・ 4月19日
日曜日（月2回）・・・・ 4月12日
日曜日（月3回）・・・・ 4月12日



みなさま、良い春休みをお過ごしください。新年度も、引き続き、どうかよろしくお願いたします。

スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週水曜日の午後7時半～9時半です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。